



2013年 公益社団法人日本歯科先端技術研究所 学術講演会・市民公開講座

インプラント治療の未来を探る

— 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士、それぞれの立場から —

平成 25 年 3 月 24 日(日)

9 : 00 ~ 16 : 00

東京国際フォーラム D7

定 員 : 250 名

参加費 : 会員 無料・非会員 5,000 円

※定員に限りがありますので、事前申し込みをお願いいたします。

市民公開講座 参加費 : 無料 (昼食付)

主催 : 公益社団法人 日本歯科先端技術研究所

後援 : 厚生労働省・日本歯科医師会

* (公社)日本歯科先端技術研究所 総会 9 : 00 ~

学術講演会 10 : 00 ~ 12 : 10 13 : 30 ~ 15 : 00



10 : 00 ~ 11 : 00

Dentist
インプラント治療における歯科衛生士の役割
— 歯科衛生士ならではの視点 —
安生 朝子
歯科衛生士(藤橋歯科医院勤務)



11 : 10 ~ 12 : 10

Digital dental lab with the analog skill
(デジタル技工術はアナログ技術と共に)
十河 厚志
歯科技工士(デンテックインターナショナル株式会社)



13 : 30 ~ 15 : 00

複雑なインプラント症例の外科
— 補綴の連携治療 —
山崎長郎
SJCD インターナショナル会長

お問い合わせ

公益社団法人 日本歯科先端技術研究所

〒105-0014 東京都港区芝 1-8-25 芝TKビルディング4F

TEL : 03-5476-2004 FAX : 03-5476-2006

www.nissenken.org

近年のインプラント治療の普及・発展に伴い、国内における施術症例数も飛躍的に増加しています。一方で、世界に類を見ない超高齢化社会へと進むなか、長期経過したインプラント治療を省みるなかで、インプラント治療が進むべき方向性を考えるときを迎えているのではないのでしょうか。

インプラント治療は歯科医師にとって、保存・補綴・外科、すべての分野の包括治療であるとともに、その成功には、歯科衛生士・歯科技工士との高度な連携が必須であります。

今回、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士、それぞれの立場から、インプラント治療の進むべき方向性を提案いただき、皆さんとともにその将来を考えてみたいと思います。

山崎長郎先生に歯科医師の立場から、歯科衛生士・歯科技工士の代表として、安生朝子氏・十河厚志氏にご登壇いただくことになりました。三人の先生を交えた出席者全員参加型のディスカッションを通して、皆さんとともにインプラント治療を語りませんか。そして、自分のインプラント治療を再考しようではありませんか。

公益社団法人 日本歯科先端技術研究所
会長 築瀬 武史



12 : 20 ~ 13 : 20 市民公開講座

「料理家になるまで、そして今 - 食を楽しむ -」



脇 雅世
料理研究家
著書多数

歯科にとって、「おいしく食べること」は切っても切り離せない重要なことです。今回は、NHK「きょうの料理」でもおなじみの料理研究家・脇雅世先生をお迎えして、「食を楽しむこと」についてお話いただきます。

ご聴講の際に食べて頂くお弁当は、脇先生オリジナルレシピを予定しています。

沢山の方のご参加をお待ちしています。

Dental technician

シンポジウム 15 : 10 ~ 16 : 00

インプラント治療の未来を探る



コーディネーター
奥森 直人

(公社)日本歯科先端技術研究所 専務理事



コーディネーター
野本 秀材

(公社)日本歯科先端技術研究所 常任理事

2013年 (公社)日本歯科先端技術研究所 学術講演会・市民公開講座参加申込書

下記に必要事項をご記入の上、FAX : 03-5476-2006 までご送信ください。

ふりがな 氏名	連絡先	TEL	FAX
		e-mail	
住所 (医院名)	〒	<input type="checkbox"/> 会 員	<input type="checkbox"/> 非会員
		<input type="checkbox"/> 歯科関係者	<input type="checkbox"/> 一 般